

機械工学委員会・土木工学・建築学委員会合同
IUTAM 分科会（第 3 回）・理論応用力学企画小委員会（第 1 回）
合同会議 議事録

日時 平成 30 年 5 月 28 日（月）15:00～17:15

会場 日本学術会議 5 階 5-C(2) 会議室

出欠 (◎委員長, ○副委員長, △幹事)

IUTAM 分科会

出席 ◎菱田公一, 大島まり, △前川宏一, ○金田行雄, △亀田正治, 岸本喜久雄, 新野宏,
松本洋一郎, 矢川元基, 佐野理, 西村直志

欠席 藤井孝藏, 吉村忍, 久保司郎, 小峯秀雄, 渋谷陽二, 竹内徹, 橋口公一, 緑川光正

理論応用力学企画小委員会

出席 ◎菱田公一, ○前川宏一, △亀田正治, 岸本喜久雄, 佐野理, 西村直志, 加藤準治,
河原源太, 高木周, 高橋正樹, 山川誠, 吉川暢宏, 吉川仁

欠席 荒木慶一, 堀宗朗, 山田貴博

配布資料

資料 1 第 24 期第 2 回分科会 議事録（案）

資料 2 第 24 期 IUTAM 分科会委員名簿

資料 3 理論応用力学企画小委員会設置提案書・委員名簿

資料 4 IUTAM Symposia 2020/2021 応募書類

資料 5 ICTAM2020, CC, ICTAM2024 関係資料

資料 6 ICTAM2024 招致に向けて

（スケジュール, 東京観光財団助成概要, ICTAM2016 モントリオール大会関係資料）

資料 7 第 64 回理論応用力学講演会開催報告

席上配布資料 4-2 Proposal for IUTAM Symposium (Computational methods for large-scale and complex wave problems, Proposer: K. Kishimoto, Co-Organizer: N. Nishimura)

回覧資料 IUTAM 2020 Lecture 提案 (Lecturer: K. Hashiguchi)

議事

1. 前回議事録の確認, 今後の議事録の確認・提出方法

亀田幹事より, 資料 1 に基づき説明があり, 原案を承認した.

学術会議事務局から 4 月に新しい確認方法が提示された. 本分科会, 小委員会でも, 「次回分科会, 小委員会開催時の最終承認を待たず, メール等による確認作業の上, 8 週間以内に確定版を委員長が学術会議事務局に提出する」という手順に従うことを承認した.

2. 小委員会の設置目的, メンバーについて

資料 3 に基づき, 委員の紹介を行った. 次に, 菱田委員長より「本小委員会は, 理論応用力学

講演会の企画だけでなく、国内での理論応用力学研究活動の活性化や、IUTAM の活動、特に 4 年に一度開催される ICTAM に積極的にコミットする方法を企画することである」との指針が示された。

亀田幹事より、IUTAM 分科会竹内委員を小委員会委員として加える事務手続きを行う、との報告があった。さらに、前回分科会にて決定した「小委員会委員として、大気海洋系を専門とし国際的に活躍している 50 歳程度の研究者を加え、適任者の推薦を新野委員候補に依頼する」を実施することを再確認した。

3. IUTAM シンポジウムの提案について

高木委員より、資料 4 に基づき、3 月に提出した、IUTAM Symposium on Dynamics and Interface Phenomena of Bubbles and Droplets at Multiple Scales (2020 年、東京) の概要が報告された。

西村委員より、席上配布資料 4-2 として、岸本委員を提案者、西村委員を Co-Organizer として IUTAM Symposium on Computational Methods for Large-scale and Complex Wave Problems (2021 年、京都) も提案した、との報告があった。

4. ICTAM 2024 の誘致について

4.1 IUTAM 事務局からの依頼事項への対応

まず、亀田委員より、ICTAM 2024 の誘致に先立つ活動として、資料 5 に基づき、IUTAM Congress Committee (CC) メンバーの後任、ICTAM 2020 の特別講演、座長候補者を、6/15 までに IUTAM 事務局に推薦する、との説明があった。

<CC メンバー>

菱田委員長 (兼 IUTAM General Assembly (GA) メンバー) より、CC メンバー候補として『ICTAM 2024 の時点で 50 歳代、かつ流体力学分野で著名な研究者』という基準で、河原、高木の両委員を推したい」との提案があり、審議の結果、これを当分科会として承認した。

また、これまでの慣例にならい、他の GA、CC メンバーが個人の立場で候補者を推薦することも妨げない、という方針も確認した。

<特別講演>

菱田委員長より、自薦 (回覧資料)、他薦を合わせて 7 人の推薦があった、との報告があった。

続いて、委員長より、「GA メンバー (菱田、岸本、佐野、西村の 4 委員) の合議により、被推薦者を選定する」との方針が提案され、審議の結果、提案通り進めることを承認した。

<座長>

亀田幹事より、「2016 モントリオール大会で座長を務めた 5 人 (吉村、金田、河原委員、福本康秀 (九大)、後藤俊幸 (名工大) の両先生) を引き続き座長候補者として推薦する」との提案があり、審議の結果、金田委員は当該分野の後任候補を推薦する、他の 4 人は候補者リストに載せる、ということを確認した。

次に、金田副委員長からの「広く候補者を募る必要がある」との助言に基づき、亀田幹事より、「分科会、小委員会委員は、資料 5 の中にある IUTAM から提示されたリストの中から、各自が座長を務められるセッション候補を 1 つ以上示してもらう」との提案があり、審議の結果、6/10 締め切りにてアンケートを実施することを承認した。

4.2 招致方針について

まず、亀田幹事より、資料6に基づき、ICTAM 2024 大会の招致スケジュールが示された。
続いて、菱田委員長より、「IUTAM の候補地調査（6/15 メールで申告、7/22-25 GA ミーティング（ボストン）でショートプレゼン）に日本が手を上げる際、まず『機械学会、土木学会、建築学会の3学会を始めとする国内学協会の支援を受けて開催する』と言明したい」との提案があった。
最後に、活動資金の管理体制を固めるため、内閣府、関連財団と協議を行っている、との報告があった。提案について審議した結果、各学会への正式な依頼状の送付と並行して、担当委員（機械：岸本委員、土木：加藤委員、建築：山川委員）が各学会に持ち帰って議論を進めてもらうこととした。

5. 理論応用力学講演会について

亀田幹事より、資料7に基づき、第64回講演会の概要、決算が報告された。

続いて、2019年に開催する第65回講演会について、亀田幹事より、

- (1) 2024年のICTAM招致に向けて、講演会のオーガナイズドセッションを、2020ICTAMのセッションリストに適合する形で編成してほしい、
- (2) 本講演会に協力している学協会全体に割り振る形で、担当するセッションを決めてほしい、
- (3) 収支均衡を目指してほしい

との3点の提案があった。審議の結果、第65回講演会の主幹事である土木学会との協議を6月中に実施し、提案の実現可能性を検討する、ということを決定した。

6. その他

小委員会におけるメール審議のための、メールアドレス共用が承認された。